

28年2月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年 2月1日～ 28年2月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
2月分の回答企業数は4社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/2月	3月	4月
入荷動向	国産材製材品	△ 12.5	0.0	0.0
	外材製材品	0.0	0.0	0.0
	その他	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
販売動向	国産材製材品	△ 12.5	△ 25.0	0.0
	外材製材品	0.0	△ 12.5	0.0
	その他	0.0	△ 16.7	0.0
在庫動向	国産材製材品	12.5	0.0	△ 12.5
	外材製材品	12.5	0.0	△ 12.5
	その他	0.0	△ 16.7	△ 16.7

・国産材製材品の入荷は2月の減少が、3月、4月は横ばい。外材は3ヵ月連続して横ばい。その他は3ヵ月連続して減少。

・国産材製材品の販売は2月、3月の減少が4月は横ばい。外材は2月の横ばいが、3月は減少、4月は横ばい。

・国産材及び外材の製材品の在庫は2月の増加が、3月は横ばい、4月は減少。その他は2月の横ばいが、3月、4月は減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		28/2月	3月	4月
スギ	柱角 KD10.5×3	12.5	12.5	12.5
	柱角 KD12×3	0.0	12.5	12.5
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	12.5	12.5
	母屋角	0.0	12.5	12.5
	タルキ	0.0	12.5	12.5
	間柱	12.5	12.5	12.5
	加工板	△ 16.7	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	0.0
	ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	12.5
柱角 KD12×3		0.0	12.5	12.5
土台角 10.5×4		△ 12.5	12.5	12.5
土台角 12×4		△ 12.5	12.5	12.5
通し柱 12×6		0.0	16.7	16.7
カラマツ土台角10.5×4	—	—	—	
米マツ平角	0.0	0.0	△ 12.5	
米マツ割物	△ 12.5	0.0	0.0	
北洋エゾマツタルキ	25.0	25.0	25.0	
北洋アカマツタルキ	12.5	25.0	25.0	

・スギ製材品の価格は、柱角KD10.5cm角及び間柱は2月からやや強含みで推移。柱角KD12cm角、桁角、母屋角及びタルキは2月の横ばいが、3月、4月は強含み。通し柱、ヌキ及び平割は3ヵ月連続して横ばい。加工板は2月の弱保合が3月、4月は横ばい。

・ヒノキ製材品の価格は、柱角及び通し柱は2月の横ばいが3月、4月はやや強含み、土台角は2月の弱保合が3月、4月はやや強含み。

・米マツ平角は2月、3月の横ばいが、4月はやや弱保合。米マツ割物は2月のやや弱保合が3月、4月は横ばい。

・北洋エゾマツタルキ及び北洋アカマツタルキはやや強含みで推移。

モニターからのコメント

(荷動き)

・スギ、WW入荷順調。アカマツタルキ入荷少ない。国産・外材共に記念市の後で荷動き悪い。在庫は国産・外材共に10%増加(関東)。

・スギ、ヒノキ入荷量変わらず、米材、北洋製材品も入荷横ばい。販売は良くない。在庫は横ばい(中部)。

・入荷、販売は、国産材に関しては11月、12月より若干改善の傾向(中部)。

・1月末から荷動きが低調になる。品薄が続いていたWWの3m 27×60以外はほぼ在庫が揃った(関西)。

(価格動向)

- ・スギ柱角 (KD10.5cm、12.0cm) 60,000円/m³、スギ桁角 (東北材) 40,000円/m³、母屋角 (東北材) 40,000円/m³、スギタルキ (東北材) 45,000円/m³、スギ間柱 (KD) 60,000円/m³、スギ加工板 (東北グリーン材) 東2,800円、(KD) 東4,000円、スギヌキ (東北) 40,000円/m³、(秋田) 50,000円/m³、スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m³、同 (ラフ) 40,000/m³、ヒノキ柱角 (KD)10.5cm、12.0cm 85,000、ヒノキ土台角10.5cm、12.0cm 80,000円/m³、米マツ平角KD 65,000円/m³、米マツ割物AD 65,000円/m³、北洋アカマツタルキ (アSEMBル単価) (S) 68,000円/m³、(P) 58,000円/m³、(バンドル単価) (S) 65,000円/m³、(P) 55,000円/m³。(関東)。
- ・スギ、ヒノキは横ばいを維持。米マツは入荷量減、在庫量減に伴い、住宅着工が伸びれば、販売単価も上昇するだろう (中部)。
- ・ヒノキ構造材の不振は変わらず (中部)。